

財務省の 2 %引き下げ計画に反対

ドクター署名 まだの方はぜひご返信を！

いよいよ今月国会に提出

内閣総理大臣 殿
厚生労働大臣 殿
財務大臣 殿
国会議員 各位
中医協委員各位

2017 年 月吉日

診療報酬の引き上げと患者窓口負担の軽減を求める 医師・歯科医師要請署名

診療報酬のマイナス改定が 2002 年以降繰り返された結果、医療機関は疲弊し必要な医療提供に支障をきたしています。

一昨年の「医療経済実態」調査結果について厚生労働省は「一般診療所全体の損益率は、入院収入の有無に拘らず悪化している」と報告し、中医協の診療側委員も「人件費を非常に低く抑えて、医療機関は何とか経営をしている」と指摘しています。

初・再診料をはじめ、医療機関が患者さんに提供する医療水準を担保できるよう、医療従事者の技術を正に評価するとともに、診療所や病院それぞれの医療施設の基盤強化のためにも診療報酬の引き上げは必要です。

また、全国保険医団体連合会が 2015 年に会員医療機関を対象に実施した調査では、回答した医療機関の約 4 割で患者さんの経済的理由による治療中断を経験していました。診療報酬の引き上げとともに、安心して受診できるように、患者窓口負担割合の軽減や高額療養費制度の患者負担限度額の引き下げなど、「患者窓口負担の軽減」が必要です。

私たち医師・歯科医師は、以下の事項を要望いたします。

記

一、国民に安全、安心で、必要な医療を提供するため、
診療報酬を、技術料を中心に、医科・歯科とも 10 %以上引き上げること

一、新たな患者負担増の計画は中止し、患者窓口負担を軽減すること

以上

住 所：

医療機関名：

氏 名：

私の一言

兵庫県保険医協会 姫路・西播支部ニュース

No. 237 2017 年 11 月 5 日発行



発 行 兵庫県保険医協会姫路・西播支部 支部長 宗実琴子

連絡先 〒 650-0024 神戸市中央区海岸通 1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル 5F

兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1807 FAX/078-393-1802

淡路島へバスツアー

牧場体験に日本酒試飲 大いに楽しむ



昼食会場のウェスティンホテル淡路にて参加者で記念撮影
6 医療機関から 21 人が参加した

姫路・西播支部は 10 月 22 日、昨年に引き続いてバスツアーを開催。「淡路島牧場での乳搾り体験&ウェスティンホテルでバイキング」のツアーに、会員・家族、スタッフら 6 医療機関 21 人が参加した。参加者は、「パルシェ香りの館」でのお香作り体験、淡路島牧場での乳しぼりとバター作り体験、ウェスティンホテル淡路でのランチ、千年一酒造で日本酒の試し飲みを楽しんだ。(次号に参加者の感想文を掲載予定)

2面に続くー

—1面の続き

台風が接近中の10月22日、雨が降りしきる中、各医療機関からの参加者を乗せたバスは相生・姫路を出発。

最初に淡路市にある「パルシェ香りの館」を訪れ、お香作りの体験に取り組んだ。まず香木を粉末状にしたものと、香りのもととなるオイルを混ぜ合わせ、乳鉢でこねて粘土状にする。なかなかの力仕事だが、参加者、特に普段歯科技工の仕事をしている方は手慣れた様子で練り上げていった。この粘土状にしたものを平べったく引き伸ばし、型抜きで型を切り抜いていき、参加者の思い思いのお香ができあがる。作られたお香は、大切に持ち帰り数日風乾させて完成する。できたお香は置いて香りを楽しむもよし、容器に入れて火をつけて香りを楽しむこともできるとのこと。

次にバスが向かったのは南あわじ市にある「淡路島牧場」。ここでは天気の良い日には屋外での体験も各種そろっているが、今回は雨天でもできる屋内での乳牛の乳しぼりとバター作り体験に取り組んだ。大きな牛に直接触れながら、乳しぼりを体験した。普段間近で見ることのない牛と記念撮影する参加者も多かった。

続いて、牛乳と生クリームからバター作りにチャレンジした。密封容器に牛乳と生クリームを入れ、5分ほど強い力で振り続けると腕が疲れるころにバターができあがった。なかなかお目にかかることのない自分の手作りのバターはクラッカーにつけて試食した。

次は淡路市夢舞台にある、ウェスティンホテル淡路でバイキング形式の昼食。13時を回っていたこともあり、参加者は思う存分、地元淡路島の食材を使った



力を入れてお香の原料を粘土状にこねあげる



バター作り体験 容器内に完成したバター



日本酒作りの行程について説明を聞く参加者

ランチを堪能し、周囲との話に花を咲かせていた。出発前にはホテルの中で参加者全員での記念撮影を行った。

お腹もいっぱいになったところで、最後は淡路市の「千年一酒造」で酒蔵見学。通路の両側には巨大な蒸し器と発酵のための容器がそびえる。米が普段飲んでいる日本酒になるまでに多くの手間がかか

3面に続く—

—2面の続き

ることや麴や酵母がデリケートなものであることなどの説明が職人からなされた。説明が終わった後は、みなさんお待ちかねの試飲タイム。例年酒造りは2月がメインということで、新酒を味わうということにはならなかったが、味も風味も度数も異なる種類のお酒を試飲した。

酒蔵を発つと、バスは姫路・相生への

帰路に一直線。台風接近の影響で行程に影響が出ることもなく旅行は終了した。

雨にもかかわらずご参加いただいた各医療機関の会員・家族・スタッフには心より感謝申し上げたい。また来年もバスツアーを開催する予定なので、今回参加されたみなさまはもちろん、参加されなかった方々もぜひご参加いただきたい。

ご家族・お知り合いの先生を ご紹介ください

協会では、10月より「組織強化月間」に取り組んでいます。

これまでも多くの新規開業、病院勤務の先生方に保険請求対策、審査指導対策、新規開業医研究会、臨床研究会、歯科定例研究会等の参加、3大共済制度(保険医年金・グループ保険・休業保障制度)への加入などで、ご入会をいただいているところです。

会員の先生はもちろん非会員の先生にも「頼りになり役に立つ協会」を知っていただき、身近な存在と感じていただければと考えております。

つきましては、ご家族やお知り合いの先生で、まだ協会未入会の先生がいらっしゃいましたら、紹介状などのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

お問い合わせ等は、組織部(Tel 078-393-1817)まで



支部ニュースへぜひご投稿ください

日常診療のことや医科・歯科連携などテーマは自由です。

ぜひご投稿ください。よろしくお願いします。

お問い合わせは、Tel 078-393-1807 F A X : 078-393-1802

E-mail : kuriyama-h@doc-net.or.jp

担当事務局；栗山まで